

製品名: CD236 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08296**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GYPC GLPC GPC
別名	Glycophorin-C (Glycoconnectin; Glycophorin-D; GPD; Glycoprotein beta; PAS-2'; Sialoglycoprotein D; CD antigen CD236)
遺伝子 ID	2995.0
SwissProt ID	P04921
免疫原	AA 範囲: 11-60 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

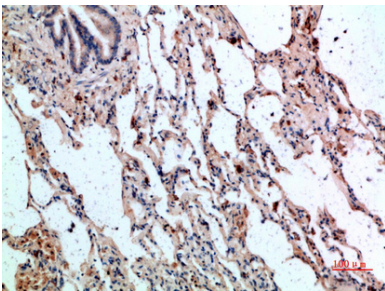
グリコフォリン C (GYPC) は膜貫通型糖タンパク質です。ヒト赤血球に多く含まれる少量種ですが、赤血球の機械的安定性を調節す

る上で重要な役割を果たしています。グリコフォリン Cには多くの変異が報告されています。Gerbich 型と Yus 型の表現型は、それぞれエクソン 3 と 2 の欠失に起因します。Webb 抗原と Duch 抗原（グリコフォリン Dとも呼ばれます）は、グリコフォリン C 遺伝子の単一点変異によって生じます。グリコフォリン C タンパク質は、グリコフォリン A およびグリコフォリン B と相同性が非常に低く、選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012 年 2 月]、機能: このタンパク質は、ヒト赤血球膜に存在する少量のシアロ糖タンパク質です。熱帯熱マラリア原虫（*Plasmodium falciparum*）のメロゾイトの血液型 Gerbich 抗原および受容体は、細胞外ドメインに存在する可能性が高い。グリコフォリン C は赤血球の安定性を調節する上で重要な役割を果たす。、オンライン情報: 血液型抗原遺伝子変異データベース、オンライン情報: グリコフォリン C エントリー、多型: GYPC は Gerbich 血液型システムを担う。、細胞内局在: バンド 4.1 を介して膜に結合している。、組織特異性: グリコフォリン C は赤血球に発現する。グリコフォリン D は遍在する。、

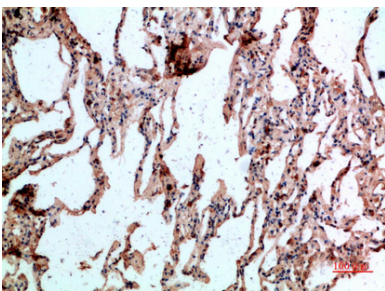
研究分野

心血管系

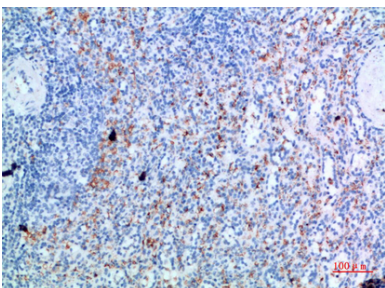
画像データ



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された